

第298号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

## 今月の内容

- 学会を終了して・学会を終えて ..... 1~2
- 《各部局報告》・めらんじゅーるな空間 ..... 3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 第54回日臨技近畿支部医学検査学会アンケート調査集計報告・《求人情報》 ..... 6~7



## 第54回日臨技近畿支部医学検査学会

会期  
平成 26年 9月 20日 (土)  
21日 (日)

同時開催  
第57回日本臨床検査医学会近畿支部総会 第34回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

会場  
神戸国際会議場



## 学会を終了して

学会長 中町 祐司

第57回日本臨床検査医学会近畿支部総会、第34回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会と同時開催した本学会は総勢1,700人以上の方々が集い大盛況のうちに終了することができました。これもひとえに参加された会員の皆様並びに会員施設や本学会にご協力をいただいた関係団体のご尽力のお陰と大変感謝しております。

学会に参加された皆様には、今までの学会と少し趣の違った運営であったと感じられたと思います。本学会は新たな試みとして情報交換がスムーズに行えるようにインターネットを利用してスマートフォンなどからの演題検索、演題に対するコメントの入力、各会場の進行状況や発表中のアンケートをリアルタイムで行えるシステムを開発して開催しました。

一般演題では英語のポスター発表を含め優秀な演題が数多くみられました。その中には基礎医学の研究の発表も見られました。改めて臨床検査技師が基礎研究から臨床まで幅広い範囲で活躍していること、また、これからは基礎と臨床のクロストークが必要であることを感じました。

シンポジウムや教育講演でも各会場で活発に討論がなされました。特に一般検査の教育講演ではスマートフォンやタブレットを使用して、参加型スライドカンファレンスが行われました。会場で投票を行い、リアルタイムで集計した結果を反映させてわかりやすく解説していました。参加された方々から好評をいただきました。

特別講演(市民公開講座)では先日、世界で初めてiPS細胞を用いた臨床応用に成功された理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター プロジェクトリーダー 高橋政代先生と、臨床検査技師で京都大学iPS研究所に勤務されている徳野治先生をお招きして、iPS細胞を用いた再生医療の現状と発展の可能性や臨床検査技師のかかわりなどについてご講演いただきました。専門的な内容も含



高橋先生



徳野先生

まれていましたが、一般市民の方々も約60名参加され、関心の高さが伺われました。会員にとっても、臨床検査技師が再生医療において重要な役割を担っていることが感じ取れたと思います。

兵臨技企画「臨床検査のinnovation」や日臨技企画ではこれから本格的に始まる検査説明や業務拡大となった検体採取に関する実質的な議論がなされました。

本学会のテーマは「臨床検査の innovation - The way of real professional - 」でした。学会が終了した今、参加された方々が少しでもinnovation(意識改革)し、学術や技術レベルが向上し臨床検査の発展や医療を通じた社会貢献へ繋がっていければと願っています。

また、2年後、2016年神戸で同時開催される第65回日本臨床医学検査学会・第32回IFBLS世界臨床検査学会・第64回日本臨床検査医学学会にご参加いただけるようお願い申し上げます。



日臨技 宮島会長



リアルタイムアンケートによる  
尿沈渣スライドカンファレンス

## 学会を終えて

実行委員長 真田 浩一

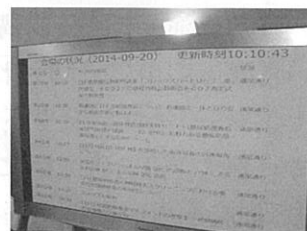
去る9月20・21日の2日間にわたり神戸国際会議場で開催致しました平成26年度日臨技近畿支部医学検査学会(第54回)は、多数の皆様のご支援とご協力により、近畿圏を中心に約1,700名の参加者を集め、成功裏の内に無事終了いたしました。ご参加並びにご支援頂きましたすべての皆様方に心より御礼申し上げます。

本学会のテーマで用いた「innovation」は、一般的に技術革新と訳されますが、本来はそれだけではなく、世の中に普及する新しい概念全般を指す言葉です。一人ひとりが自分で考え、現状にとどまることなく常に前に進んで欲しい、そんな願いを込め、高橋先生、徳野先生による再生医療の話、ITを応用したリアルタイムアンケートによる尿沈渣スライドカンファレンス、日本臨床検査医学会近畿支部総会および日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会とのコラボレーションなど、そのきっかけになるような企画を盛り込んだつもりです。

今回の学会で何かを感じ取っていただけたでしょうか？もし感じたものがあるのならば、それぞれのinnovationとしてその想いを次へ紡いでください。きっとそんな小さな積み重ねが将来の臨床検査の道に繋がっていると信じています。

本学会の実行委員長を全うできたのは、多くの方々に支えられたおかげと実感しています。学会のプログラムにご協力頂いた先生方や座長・司会の皆様、学会開催にご支援とご協力を頂いた関係団体や企業の皆様、遠方よりお越しいただいた参加者の皆様、円滑な学会運営のために多大なエネルギーを割いて頂いた運営スタッフの皆様、すべての方々に感謝いたします。

最後に、学会で経験した感謝の思いを胸に第55回日臨技近畿支部医学検査学会(大臨技担当)の成功を願いつつ、また、皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈りし、御礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。



モニターによる各会場の進行状況

## 各局局報告

### 組 織

### 第1回西播地区グループ研修会

(9月11日)

#### ● 研修会を開催して



衣笠 愛二 (姫路市医師会)

私が理事に就任してから初めての研修会の企画として某医療メーカーと相談した結果、「新しい検査室のデザインを考える ～検査室構築の基礎～」という管理運営要素の内容で講演できると提案をいただきました。難しい内容なので参加者が集まるのか不安ではありましたが、新しい話題も盛り込むべきだと考え企画させていただきました。

例年は、ほぼ新人を対象に基礎知識を中心とした内容を講演していただき、参加者で疑問に思っている事など討議していました。今回のテーマでは必然的に管理者がターゲットになりましたので、参加者の多くは各施設の管理職の方々でした。逆に若い技師の参加は少なかったものの22名に参加いただきました。質疑応答では多くの質問があり、検査室のマネジメント・人材育成について討議ができ有意義な研修会になりました。

今後は、分野を問わず、基礎・応用も含め「現場で働く技師が今知りたい内容」をコンセプトに現場で要望を聞き取り、企画していこうと考えています。会員の皆さまのご要望・ご参加をお待ちしております。



### 広 報

### 検体採取の講習会

### 初年度2万人に実施

臨床検査技師法の改正で来年4月から検体採取が認められるのに備え日本臨床衛生検査技師会は、今年10月からの4年間で、臨床検査技師約5万人を対象とした特定講習会を全国で開く。初年度は定員約300人の講習会を約70回開催し、計2万人規模の講習を終える計画。受講者には修了証とともに、業務中に胸に付けるバッジを交付する。

(平成26年8月21日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

## めらんじゅーるな 空間

[6]

動物は水中からはい上がり、陸上での生活を始め、さらに進化していった。もちろん中には、再び水中へ戻った生き物もいた。そして陸上化の結果、重力の影響を受けるようになったので、形態的に手足の分化が進むようになったと言われている。地上から離れて空中に生活の場を広げた生き物も同様であるが、基本的には外部形態の対称性は維持されている。しかし、進化による変化なのか、遺伝的な変化なのかは謎の部分もあるが、カタツムリを食べるヘビ、ある種のシオマネキ等のような変化、いわゆる対称性に歪が起きているのは確かなようである。

それでは動物に右利き、左利きはあるのだろうか。βカロチンを多く含む藻類を食べて全身がピンクになるフラミンゴは1本足で立つことが知られているが、ではどちらの足で立っているのだろうか。実際に調べた方がいて、立っているときは右足で、魚を追い立てるときには左足を使うらしい。利き手、利き足、利き耳、利き目・・・どうなっているのだろうか・・・ふとそう思った(次回へ続く)。





## 第54回日臨技近畿支部医学検査学会 アンケート調査集計報告

本学会に参加された皆様に、アンケート用紙の配布とWEBによるアンケート調査を実施しましたので、集計結果(紙媒体:69、WEB:26)を今月から2ヶ月にわたり、ご報告させていただきます。

### ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ アンケート調査集計結果 (複数回答あり) ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

#### 1. ITを駆使した学会に参加して、良かったと思いますか？ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

		%
とても良かった	20	24
良かった	38	45
普通	18	21
あまり良くなかった	7	8
良くなかった	1	1
合計	84	

##### ご意見：

- ・ ネットのページ、抄録が見づらい
- ・ 良い反面、PCやスマホを使えないといけない時代だとヒシヒシ感じた
- ・ プログラムの小冊子がないことに気付くのが遅く困った⇒宣伝不足？
- ・ 尿沈渣(参加型) スライドカンファレンスがものすごくよかった(2)

#### 2. 学会ホームページについて、お尋ねします。 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

		%
とても良かった	11	13
良かった	32	38
普通	34	40
あまり良くなかった	6	7
良くなかった	1	1
合計	84	

##### ご意見：

- ・ 問合せがわかりにくい
- ・ 交通アクセスが開かない(2)
- ・ 閲覧操作が煩雑、HPに何の情報も書かれていないため利用しづらい
- ・ 日程表以外に表紙のような頁に開始時間を入れてほしい
- ・ 事前登録制の有無、ランチョンの参加方式など入れてほしい
- ・ ヤフーで検索したら、日臨技の各地区の地区学会紹介ページが一番上に来るので、このページが一番上に来るような検索ワードを何か載せておいたら尚良いと思います(2)

#### 3. WEB版抄録集について、お尋ねします。 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

		%
とても良かった	16	20
良かった	27	33
普通	22	27
あまり良くなかった	13	16
良くなかった	3	4
合計	81	

##### ご意見：

- ・ 学会前に抄録を読むことができて、とても良かった(2)
- ・ 事前に抄録をチェックできるのは良いと思う、当日の抄録集は希望者のみでもよいのでは・・・
- ・ 少しスケジュールがわかりにくかった
- ・ 見にくい、閲覧しにくい
- ・ WEB抄録集の存在自体気付きませんでした⇒宣伝不足？
- ・ 以前配布されていたタイムスケジュールだけ掲載している時間割の小冊子があれば、より見やすかったと思います
- ・ 会場マップへのリンクをどのページからでも付けていただけると非常に助かります
- ・ とてもよかったが、その分会費1000円ほど安くしてもらえると嬉しいです…

#### 4. 学会場にスマホ、タブレットやPCを持って来られましたか？ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

		%
はい	50	69
いいえ	22	31
合計	72	

## 5. WEB版抄録集を含むITを利用した学会について、今後改善した方が良くと思われる項目と改善法があれば提案して下さい。(いくつでも結構です)

### 各抄録の閲覧とダウンロード 23

- ・紙がほしい
- ・プリンタ環境がない時のため、前みたいにタイムテーブルの小冊子は事前に送付した方がいい
- ・表みたいにしてほしい
- ・プログラムやスケジュール表とリンクしてほしい
- ・抄録が重たくなかったのが、助かった
- ・シンポジウムの抄録が見当たらなかったです
- ・冊子を持ち運ばなくて良く、また発表時は場内が暗くなるため、スマホの画面を見ながら発表を聞けるの非常に良かった

### 抄録の検索機能 17

- ・プログラムやスケジュール表とリンクしていないので、移動しにくい
- ・分野別ごとに検索できるようにしてほしい
- ・演者および共同演者の名前で抄録が検索できるとなお嬉しい(2)
- ・検索機能の使い方がよくわからなかった
- ・演題番号を入力して検索できるようにすればもっと良い(3)

### 一般演題の掲示版 4

- ・存在を知らなかった⇒宣伝不足

### 「いいね」ボタン 12

- ・気軽な感じでよかったです
- ・何回でも押せる
- ・いらない(2)
- ・機能は良かったが一つ一つが見にくい
- ・学会発表内容について良い or そうでない評価が適切でしょうか？仮に実施されて、どう活用されるのでしょうか
- ・いいね数と演題の質が一致しないので辞めた方が良くと思います

### 学会当日のスケジュール管理 15

- ・必要ない
- ・地デジ見るときの今の見ている番組と次の放送予定番組の題名出る機能みたいに、今現在(now)の企画・シンポジウムの題名とその直後(next)の企画の題名がすぐわかる機能があると便利です
- ・演者や座長、司会の方は打ち合わせの場所も含めて共有できる情報画面があると良いと思います

### スマホやタブレットを利用したリアルタイム集計やアンケート 10

- ・あった方が良くと思います
- ・一般の教育カンファがとても良かった(3)
- ・優秀発表などを投票するなど出来れば興味深い
- ・運用方法をご教示いただきたい

### 学会の進捗状況の案内 9

- ・会場内に入らなくてもおおまかな状況がわかって便利だと思いました、よかった(2)

### その他 9

- ・講演会場によっては電源が入らず(WiFiを含め)、システムを利用することができなかった
- ・プログラム、演題名、抄録が1ファイルでは見にくい(シンポジウム)
- ・PDFの多ページ閲覧はIT利用の利点が少ない
- ・各演題の内容に前もって充分に把握しようと思うと、やはり紙ベースでプリントアウトが必要となる
- ・PCやスマホの使い慣れていない人にも優しいIT学会を・・・
- ・参加の事前登録
- ・充電ブースがなかった(2)

紙面の都合により、賛助コラムは次月号に掲載となります。お楽しみに。

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●(特医)誠仁会 大久保病院

交 通：JR大久保駅下車 徒歩15分  
採用条件：正社員  
業務内容：生体検査・生理検査  
連 絡 先：078-935-2563 内線220  
(事務長 尾家)

### ●慈恵会 新須磨病院

交 通：JR須磨海浜公園駅下車 徒歩2分  
採用条件：臨時職員  
業務内容：検査業務全般  
連 絡 先：078-735-0001 (総務 西本)

### ●(医)川崎病院

交 通：市営地下鉄湊川公園駅下車 徒歩5分  
採用条件：正社員  
業務内容：超音波検査業務(業務経験または超音波検査士資格あれば尚可)  
連 絡 先：078-511-3131 内線7563  
(総務課 中満・高野)

